

広島県災害対策本部員会議（第1回）知事コメント

（令和2年7月6日）

- 現在、広島市と廿日市市に土砂災害警戒情報が出され、広島市では警戒レベル4 避難勧告が発令済みであり、廿日市市では、まもなく警戒レベル4 避難勧告が発令される予定であります。
- また、安芸郡坂町には、警戒レベル4 避難勧告が発令されています。さらに、複数の県内市町で警戒レベル3 高齢者等避難開始が発令されています。
- 今日は奇しくも、平成30年7月豪雨災害から2年になりますが、本日の状況も2年前と似たような状況ではないかと思えます。
- 6年前の広島土砂災害も時間雨量100ミリという非常に短期間に大量の雨が降りましたが、今回は数十ミリの雨が長時間降ることが想定されています。
- 今、安芸高田市と廿日市市のほうでも避難判断水位を超えた河川がありますので、河川の氾濫、浸水害についても厳重な警戒が必要になります。
- 命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況ですので、2年前のことを思い出して、各局においては、最大限の警戒をもって対応をしていく必要があります。
- 市町においては、大雨の範囲が拡大することで、さらなる避難情報の発令や避難所開設が必要となる可能性がありますので、万全の体制を確保し、迅速で的確な対応をお願いします。
- また、雨は明日朝にかけて強く降る可能性があるため、夜中に避難勧告が発令される恐れがあります。
- 新型コロナウイルスによる感染リスクが拭いきれない中で、住民の皆様安心して避難いただくため、早めに避難所の開設を市町にお願いするとともに、消毒液や非接触型体温計などの資機材を活用して、避難所における感染防止対策にも万全を期すようお願いいたします。
- 危険な場所にいる方に対しては、自らの命や家族の命を守るため、
 - ・警戒レベル3では、高齢者や避難に時間を要する方は避難
 - ・警戒レベル4では、全員避難を躊躇なく実施することを徹底してください。

- ただし、堅牢なマンションの上層階にお住まいの方など「安全な場所にいる人」は、避難する必要はありません。
 - ・ まずは、ハザードマップで、お住まいの地域が災害の発生の恐れがある場所かどうか確認していただき、
 - ・ その上で、避難が必要な方は、市町が開設する避難所だけではなく、安全な場所にある親戚や知人宅などの安全な避難先を確保し「分散避難」に取り組むこと

などを改めて市町から住民の皆様に周知してください。

- また、夜中に土砂災害警戒情報の発令や、河川の氾濫が起きる可能性があります。夜中の避難は難しくなるので、特に知人宅・親戚宅に避難する方は、事前に早めに避難いただくよう市町から住民の皆様に周知をお願いします。
- 各局においては、緊張感を持ち、市町や防災関係機関と連携を図り、大雨に対する準備をしっかりと行うこと、また、被害が発生した際に迅速な対応ができるよう、万全の体制を確保してください。
- あわせて、自然災害への対応を十分に実施するとともに、避難所における感染防止対策についても引き続き着実に取り組んでください。
- また、現在、熊本県など九州南部を中心に、かなり大規模な災害が発生しており、予断を許さない状況が続いています。今後、各方面から支援要請がなされることもないと想定されますので、各局においては、直ちに対応できるよう準備を進めておいてください。